

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 行政・デジタル改革課
 担当名: 行政管理担当
 内線: 7311

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
N63	秘書の労働者派遣業務			一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	行政改革推進費		
事業期間	平成20年度～	根拠法令	なし			針路分野施策		SDGsゴール	SDGsターゲット	
1 事業の概要	部長・副部長の秘書業務を担う労働者の派遣を求める。令和5年8月31日までの長期継続契約(3年間)が終了し、新たに同9月からの3年間の長期継続契約を締結。 秘書業務委託費 △6,269千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 秘書業務委託費 63,794千円 知事部局11部の部長・副部長の秘書業務について、派遣労働者による業務を実施する。 (2) 事業計画 最小・最強の県庁の実現に向け、県業務の民間開放の拡大と、政策立案や公権力の行使など行政のコア業務への職員の重点配置を実現する。 (3) 事業効果 ・職員を政策立案、公権力の行使などの行政のコア業務への重点的な配置を可能にする。 ・派遣労働者については、採用活動を行わずにスキルの高い即戦力の人材を確保でき、社会保険などの労務管理も不要なことから、採用に係る手間と経費を削減できる。 ・企業での実務経験のある派遣労働者が存在することで、県職員にも刺激になり、組織の活性化が期待できる。 ・経費削減効果は、予算ベースで40,706千円。(職員1人当たり平均人件費約9,500千円と比較) (4) 補正予算の概要 9月からの新契約の単価が当初見込みを下回ったことによる委託料の減額 【その他】 ・令和5年8月末までの長期継続契約。同9月からの3年間の長期継続契約を実施。						
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の予算額
決定額	△6,269							△6,269	57,525	
現計額	63,794							63,794		

事業内訳書

事業名	秘書の労働者派遣業務		
単位事業名	秘書業務委託費	予算額	△ 6,269千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△6,269	—	
合計	△6,269	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△6,269	—	契約差金が生じたことによる秘書派遣業務委託の減
合計	△6,269	—	